

市民活動サポート助成金団体一覧（順不同）

| No. | 助成年度 | 団体名 | 代表者 | 活動内容(目的) | 助成額(円) |
|-----|------|-----------------------|--------|---|---------|
| 1 | H22 | 音泉組 | 青柳 淳一 | 市内のステージなどでライブ活動を行い、市民や観光客に楽しんでもらう。 | 200,000 |
| 2 | H22 | 特定非営利活動法人 グリーンウェル | 関 法子 | あわら市を流れる河川の流域の動植物を観察することにより、ふるさとの自然のすばらしさを再認識する。 | 100,000 |
| 3 | H22 | 二面温泉婦人会ゆうゆう会 | 大井 尚美 | 心を込めて同じような花を育てることにより連帯感をもって湯のまちあわらを花で飾っていく。 | 60,000 |
| 4 | H22 | 桜守り隊 | 卯目ひろみ | 楽しく賑わう場所づくりを提供することで地域の活性化を図っていく。「桜守り隊」はこれらをサポートし応援する。 | 180,000 |
| 5 | H23 | 特定非営利活動法人 グリーンウェル | 関 法子 | あわら市内の子供たちが交流を持ち、互いに助け合いながら自然を体験し、自然の素晴らしさや自然環境保護の大切さを学んでもらう。 | 50,000 |
| 6 | H23 | 金津春秋会 | 赤尾 政治 | 地域の協力団体と共に手作り感に満ちた催しを実施し、地域の活性化に寄与し、地域住民との親睦を図る。 | 150,000 |
| 7 | H23 | 双六の会 | 林 清一郎 | 男性を対象に料理教室を開催し、家事の大変さを認識させるとともに、男性の調理に対する新たな興味を持たせる。 | 150,000 |
| 8 | H23 | あわら温泉で寄せ植えコンテスト実行委員会 | 後藤 義明 | 身近にある花や緑を愛し、それを形にするために寄せ植えコンテストを行い、街なかの賑わいを創出しあわら温泉の活性化を図る。 | 200,000 |
| 9 | H23 | フレンドシップコンサート実行委員会 | 山岸 実男 | あわら市で行われる文化祭に引き続き形で、さらに音楽文化も身近に感じてもらえるようなコンサート開催する。 | 50,000 |
| 10 | H24 | A FLEA MARKET 実行委員会 | 松川 秀仁 | あわらという街に若者を集め、そこに集まった人が更に繋がり、その人の人生のきっかけにしてみよう。 | 195,000 |
| 11 | H24 | Y o u 芦芸隊員 | 糸扇家まどか | 温泉の湯にふれてもらい、あわらの味にふれてもらい、あわらの良さを知ってもらおう。 | 200,000 |
| 12 | H24 | 金津三弦会 | 堀田あけみ | 子ども、地域の人たちに三味線を習得させ、その楽しさの共有により地域を見つめなおすとともに、伝統文化を継承する。 | 200,000 |
| 13 | H25 | 活芦塾 | 後藤 義明 | 民話・伝承を効果的に発信することで、芦原温泉の新たな魅力を創出する。 | 100,000 |
| 14 | H25 | 玄恭会 | 山下 恭代 | 誰もが気軽に見に行けて、楽しめる書道展を開催し、多くの人が芸術文化に親しむ 機会をつくる。 | 100,000 |
| 15 | H25 | あわらかヌークラブ | 赤神 芳幸 | カヌーの新しい魅力を発信し続け、あわら市の観光のイメージアップを図るとともに、カヌー体験を通じ、北潟湖や波松海岸の環境美化に関心を持つ人の増加に繋げる。 | 200,000 |
| 16 | H25 | フォーラムあわら | 近藤 英子 | 私たちの住むこの豊かな地域を知り生きる知恵を学び、食べ物の大切さを伝える。 | 200,000 |
| 17 | H26 | あわららくご委員会 | 藤崎 清晃 | 【落語】を地元住民や観光客に鑑賞してもらうことで、「またあわら温泉に来たい」と思える取り組みを行う。 | 100,000 |
| 18 | H26 | A FLEA MARKET 実行委員会 | 松川 秀仁 | ・芦原温泉の新たな楽しみ方の提案をする。 ・温泉街を食歩いてもいいあわらの魅力を再発見してもらおう。 ・あわらでも遊べるという若者への発信する。 | 200,000 |
| 19 | H26 | ハウンドプロジェクト | 岡田 広 | あわら市を舞台とした自主製作映画を発表することにより、福井県内外へあわら市の人々、街の魅力をPRする。 | 100,000 |
| 20 | H26 | あわら TOWN BRIDGE 実行委員会 | 寺尾 毅 | ダンスを愛するあわら市民及び全国の青少年にダンスの機会を提供する。地域の人々や商店等との連携により、単なるイベントではなく、地域を元気にすることを目的とする。 | 200,000 |
| 21 | H27 | あわらイッチョライ GENBU 座 | 松本 研吾 | 地域の行事・イベント等において、ヨサコイ（イッチョライ）や国体ダンスを活用した交流事業を展開し、まち全体のにぎわいを創出する。 | 200,000 |
| 22 | H27 | ほそろぎ歴史を語る会 | 清水 澄郎 | 観光ボランティアガイドの養成や郷土歴史の発掘及び調査に継続的に取り組むことで、郷土の歴史遺産、伝統行事及び文化芸能を伝承する。 | 200,000 |
| 23 | H27 | あわらコミュ | 圓道 千鶴子 | 県内で様々な分野で活躍されている女性を講師に招いたワークショップや、得意分野を持ちながら発表の場がない女性を発掘し発 | 200,000 |

市民活動サポート助成金団体一覧（順不同）

| | | | | | |
|----|-----|-----------------------|--------|---|---------|
| | | | | 表の場を提供するイベント「あわらスマイルフェスタ」を開催する。 | |
| 24 | H28 | カヌー一大国あわら市でそうろう | 浅野 直美 | カヌーの魅力伝える動画を制作し、カヌーの面白さ、楽しさを内外に広く発信することで、カヌー競技の普及に努めるとともに、カヌーポロの聖地・北潟湖のPRを図り、地域の活性化を促す。 | 200,000 |
| 25 | H28 | 福井ひとまち開発計画 | 藤田 侑平 | 子ども園児や小学生を対象とし、外国人の先生との交流や生きた英語に触れる機会を創出し、異文化の理解を深め、国際教育の普及推進を図る。 | 200,000 |
| 26 | H28 | あわら YOGA 倶楽部 青空 yoggy | 高嶋 英巳子 | 健康増進や地域コミュニティの活性化を目的として、芦湯やお寺、北潟湖などを会場にヨガの教室を開催する。また、新たな試みとして北潟湖で Sap ヨガを実施するなど、地域資源とヨガを結びつけることで、地域そのものの魅力を高め、ふるさとあわらへの愛着醸成や市のイメージアップにつなげる。 | 200,000 |

| No. | 助成年度 | 団体名 | 代表者 | 活動内容(目的) | 助成額(円) |
|-----|------|---------------------------------|--------|---|---------|
| 27 | H29 | あわら YOGA 倶楽部 青空 yoggy (H28 継続分) | 高嶋 英巳子 | 健康増進や地域コミュニティの活性化を目的として、芦湯やお寺、北潟湖などを会場にヨガの教室を開催する。また、新たな試みとして北潟湖で Sap ヨガを実施するなど、地域資源とヨガを結びつけることで、地域そのものの魅力を高め、ふるさとあわらへの愛着醸成や市のイメージアップにつなげる。 | 100,000 |
| 28 | H29 | 福井ひとまち開発計画 (H28 継続分) | 藤田 侑平 | 子ども園児や小学生を対象とし、外国人の先生との交流や生きた英語に触れる機会を創出し、異文化の理解を深め、国際教育の普及推進を図る。 | 24,000 |
| 29 | H29 | フレンド金津 | 宇城 泰斗 | 子ども食堂と寸劇を通して、人と人のつながる場を提供し、地域の人たちと楽しく食事をしたり、寸劇で子どもやお年寄りに楽しんでいただくことで、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり(福祉コミュニティ)に繋げる。 | 200,000 |
| 30 | H29 | 波松流木きらめきフェスタ実行委員会 | 東川 継央 | ～ひと・まち・こころ ここをつながり ここからつくる～をスローガンに、波松小学校校舎を活用し、子育て世代や友だち、カプルとの交流人口を増やし、地域の賑わいの創出、校下住民の一体感の高揚を図る。 | 200,000 |
| 31 | H29 | ゲンキッスステーション ASOVIVA! | 長田 康秀 | 子供達に、遊びを通じて自分の体を自分の思うように動かせるように指導することで身体を動かす楽しさを教え、そこから、様々なスポーツを体験させることでスポーツの活性化を図る。 | 200,000 |
| 32 | H30 | あわら YOGA 倶楽部 青空 yoggy (H28 継続分) | 高嶋 英巳子 | 健康増進や地域コミュニティの活性化を目的として、芦湯やお寺、北潟湖などを会場にヨガの教室を開催する。また、新たな試みとして北潟湖で Sap ヨガを実施するなど、地域資源とヨガを結びつけることで、地域そのものの魅力を高め、ふるさとあわらへの愛着醸成や市のイメージアップにつなげる。 | 50,000 |
| 33 | H30 | フレンド金津 (H29 継続分) | 宇城 泰斗 | 子ども食堂と寸劇を通して、人と人のつながる場を提供し、地域の人たちと楽しく食事をしたり、寸劇で子どもやお年寄りに楽しんでいただくことで、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり(福祉コミュニティ)に繋げる。 | 100,000 |
| 34 | H30 | 波松流木きらめきフェスタ実行委員会 (H29 継続分) | 東川 継央 | ～ひと・まち・こころ ここをつながり ここからつくる～をスローガンに、波松小学校校舎を活用し、子育て世代や友だち、カプルとの交流人口を増やし、地域の賑わいの創出、校下住民の一体感の高揚を図る。 | 100,000 |
| 35 | H30 | ゲンキッスステーション ASOVIVA! (H29 継続分) | 長田 康秀 | 子供達に、遊びを通じて自分の体を自分の思うように動かせるように指導することで身体を動かす楽しさを教え、そこから、様々なスポーツを体験させることでスポーツの活性化を図る。 | 100,000 |
| 36 | H30 | 新みどり区 | 水口 勝治 | 日本の伝統的な太鼓、踊りの普及・伝承及び、事業を通じた子供と保護者及び住民とのコミュニケーションの充実を図る。 | 200,000 |
| 37 | H30 | 北潟民謡クラブ | 佐孝 泰枝 | 平成11年アイリスブリッジの完成とともに北潟の豊かな自然を題材にした抒情歌謡「北潟慕情」が生まれ、踊りにしたいと振り付けを依頼した。この踊りの普及に努めようと数年前より地区の祭り、公民館まつり、納涼祭等で披露してきたが、市内、県内全体において活動を広げることで、地域のさらなる活性化を図る。 | 100,000 |
| 38 | H30 | m-ravo | 青柳 淳一 | 市内にある普段使われることが少ない屋外ステージに北陸アイドルフェスティバルを誘致する事により、「音楽が溢れるまちづくり」を目指すとともに、それらのイベントを通じて温泉街等における経済活性化を図って、音楽と温泉のある街「あわら市」をPRする。 | 200,000 |

市民活動サポート助成金団体一覧（順不同）

| | | | | | |
|----|-----|------------------------------|-------|---|---------|
| 39 | H30 | AWARA New Wave | 中内 奏太 | あわら市では、若者が進学・就職などで、県外へ出てしまい少子化が進んでいる。あわら市内在住の未婚の若年層に対し、地元での出会いの場・交流の場を提供することで、地域コミュニティの形成・活性化、若者の定住を促す。 | 200,000 |
| 40 | R1 | フレンド金津（H29 継続分） | 宇城 泰斗 | 子ども食堂と寸劇を通して、人と人のつながる場を提供し、地域の人たちと楽しく食事をしたり、寸劇で子どもやお年寄りに楽しんでいただくことで、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり（福祉コミュニティ）に繋げる。 | 50,000 |
| 41 | R1 | 波松流木きらめきフェスタ実行委員会（H29 継続分） | 東川 継央 | ～ひと・まち・こころ ここつながり ここからつくる～をスローガンに、波松小学校校体校舎を活用し、子育て世代や友だち、カンプルとの交流人口を増やし、地域の賑わいの創出、校下住民の一体感の高揚を図る。 | 50,000 |
| 42 | R1 | ゲンキッズステーションASOVIVA！（H29 継続分） | 長田 康秀 | 子供達に、遊びを通じて自分の体を自分の思うように動かせるように指導することで身体を動かす楽しさを教え、そこから、様々なスポーツを体験させることでスポーツの活性化を図る。 | 50,000 |
| 43 | R1 | 新みどり区（H30 継続分） | 水口 勝治 | 日本の伝統的な太鼓、踊りの普及・伝承及び、事業を通じた子供と保護者及び住民とのコミュニケーションの充実を図る。 | 100,000 |
| 44 | R1 | 北潟民謡クラブ（H30 継続分） | 佐孝 泰枝 | 平成11年アイリスブリッジの完成とともに北潟の豊かな自然を題材にした抒情歌謡「北潟慕情」が生まれ、踊りにしたいと振り付けを依頼した。この踊りの普及に努めようと数年前より地区の祭り、公民館まつり、納涼祭等で披露してきたが、市内、県内全体において活動を広げることで、地域のさらなる活性化を図る。 | 100,000 |

| No. | 助成年度 | 団体名 | 代表者 | 活動内容(目的) | 助成額(円) |
|-----|------|-------------------------|--------|---|---------|
| 45 | R1 | m-ravo（H30 継続分） | 青柳 淳一 | 市内にある普段使われることが少ない屋外ステージに北陸アイドルフェスティバルを誘致する事により、「音楽が溢れるまちづくり」を目指すとともに、それらのイベントを通じて温泉街等における経済活性化を図って、音楽と温泉のある街「あわら市」をPRする。 | 100,000 |
| 46 | R1 | AWARA New Wave（H30 継続分） | 中内 奏太 | あわら市では、若者が進学・就職などで、県外へ出てしまい少子化が進んでいる。あわら市内在住の未婚の若年層に対し、地元での出会いの場・交流の場を提供することで、地域コミュニティの形成・活性化、若者の定住を促す。 | 100,000 |
| 47 | R1 | ビーチサッカー実行委員会 | 和田 来生 | あわら市の豊かな自然に触れ合うことで次世代の子どもたちに郷土愛を持ってもらい、地域に若者を定着させる。 また、サッカー文化が根付いている波松においてニュースポーツであるビーチサッカーを普及させることで、老若男女が楽しめるイベントを構築する。 | 200,000 |
| 48 | R1 | 金津まちなかガイド | 清水 興志男 | 観光客へのおもてなしを充実させることにより、金津市街地の活性化を図る。 | 200,000 |
| 49 | R1 | NPO 農村お助け隊 | 岡田 英明 | 休耕地・耕作放棄地の解消及び人々の交流を図る機会を創造する。 | 50,000 |
| 50 | R1 | 夢ぐるま café ふわり | 竹嶋 一江 | 北潟の風光明媚な景色に関心を持ったり、地域住民自ら誇りを持って市内外に広く発信し、あわら市の活性化を目指す。 | 100,000 |
| 51 | R1 | たたら製鉄遺跡保存会 | 藤川 龍七 | 市内の小学生と地域住民との交流事業の形態で製鉄実習を行うことにより、地域の歴史や伝統を後世に伝えとともに、地域間や多世代交流を促進し、細呂木地区の活性化および街づくりの推進を図る。 | 200,000 |
| 52 | R1 | 坂井あわらアグリカルチャー・スマイル・クラブ | 斉藤 力 | あわら温泉をはじめとする飲食店や宿泊施設等の商工観光関係者と農業者が連携することにより、一層地産地消の推進とPRを図り、あわらの食の魅力を盛り上げる。 | 200,000 |
| 53 | R2 | 新みどり区（H30 継続分） | 水口 勝治 | 日本の伝統的な太鼓、踊りの普及・伝承及び、事業を通じた子供と保護者及び住民とのコミュニケーションの充実を図る。 | 50,000 |

市民活動サポート助成金団体一覧（順不同）

| | | | | | |
|----|----|-------------------------|--------|---|---------|
| 54 | R2 | 北潟民謡クラブ（H30 継続分） | 佐孝 泰枝 | 平成 11 年アイリスブリッジの完成とともに北潟の豊かな自然を題材にした抒情歌謡「北潟慕情」が生まれ、踊りにしたいと振り付けを依頼した。この踊りの普及に努めようと数年前より地区の祭り、公民館まつり、納涼祭等で披露してきたが、市内、県内全体において活動を広げることで、地域のさらなる活性化を図る。 | 50,000 |
| 55 | R2 | m-ravo（H30 継続分） | 青柳 淳一 | 市内にある普段使われることが少ない屋外ステージに北陸アイドルフェスティバルを誘致する事により、「音楽が溢れるまちづくり」を目指すとともに、それらのイベントを通じて温泉街等における経済活性化を図って、音楽と温泉のある街「あわら市」を PR する。 | 50,000 |
| 56 | R2 | AWARA New Wave（H30 継続分） | 坂井 優 | あわら市では、若者が進学・就職などで、県外へ出てしまい少子化が進んでいる。あわら市内在住の未婚の若年層に対し、地元での出会いの場・交流の場を提供することで、地域コミュニティの形成・活性化、若者の定住を促す。 | 50,000 |
| 57 | R2 | ビーチサッカー実行委員会（R1 継続分） | 鰐淵 拓実 | あわら市の豊かな自然に触れ合うことで次世代の子どもたちに郷土愛を持ってもらい、地域に若者を定着させる。 また、サッカー文化が根付いている波松においてニュースポーツであるビーチサッカーを普及させることで、老若男女が楽しめるイベントを構築する。 | 100,000 |
| 58 | R2 | 金津まちなかガイド（R1 継続分） | 清水 興志男 | 観光客へのおもてなし を充実させることにより、金津市街地の活性化を図る。 | 100,000 |
| 59 | R2 | NPO 農村お助け隊（R1 継続分） | 岡田 英明 | 休耕地・耕作放棄地の解消及び人々の交流を図る機会を創造する。 | 100,000 |
| 60 | R2 | 夢ぐるま café ふわり（R1 継続分） | 竹嶋 一江 | 北潟の風光明媚な景色に関心を持ったり、地域住民自ら誇りを持って市内外に広く発信し、あわら市の活性化を目指す。 | 100,000 |
| 61 | R2 | たたら製鉄遺跡保存会（R1 継続分） | 藤川 龍七 | 市内の小学生と地域住民との交流事業の形態で製鉄実習を行うことにより、地域の歴史や伝統を後世に伝えるとともに、地域間や多世代交流を促進し、細呂木地区の活性化および街づくりの推進を図る。 | 100,000 |

| No. | 助成年度 | 団体名 | 代表者 | 活動内容(目的) | 助成額(円) |
|-----|------|--------------------------------|--------|---|---------|
| 62 | R2 | 坂井あわらアグリカルチャー・スマイル・クラブ（R1 継続分） | 斉藤 力 | あわら温泉をはじめとする飲食店や宿泊施設等の商工観光関係者と農業者が連携することにより、一層地産地消の推進とPRを図り、あわらの食の魅力を盛り上げる。 | 100,000 |
| 63 | R2 | 「藤野先生」を継続的に顕彰する市民の会 | 松井 利夫 | あわら市民が中心となって、郷土の偉人である「藤野厳九郎」を末永く顕彰していくための組織作り及びその活動支援を目的とする。 本会が顕彰活動の進め方を提示し、趣旨に賛同する者を広く募り、活動を進めていく。 | 200,000 |
| 64 | R2 | 特定非営利活動法人細呂木地区創成会 | 藤川 龍七 | 地域の自然素材を生かした商品開発を行う。また、体験型プログラムの商品化も進めていく。 | 150,000 |
| 65 | R3 | 金津まちなかガイド（R1 継続分） | 清水 興志男 | 観光客へのおもてなし を充実させることにより、金津市街地の活性化を図る。 | 50,000 |
| 66 | R3 | 特定非営利活動法人細呂木地区創成会（R2 継続分） | 藤川 龍七 | 地域の自然素材を生かした商品開発を行う。また、体験型プログラムの商品化も進めていく。 | 100,000 |
| 67 | R3 | あわらピタゴラの会 | 三上 寛了 | 本能的な楽しさを伴うピタゴラ装置作りを通して、論理的思考力やデザイン感覚を養う知育の場作りを行う。新郷小学校を活動拠点にしてあわら市にピタゴラの輪を広げていく。ピタゴラコンテストとピタゴラ教室を開催することで、将来的には全国や海外でも名の知れた活動に育てていきたい。 | 100,000 |
| 68 | R3 | あわら国際交流友の会 | 藤田 侑平 | 外国人と一緒にしゃべり場の日本語講座、マナー講座、防災講座等を開催して、生活のサポートを行う。 外国人の方にあわら市の事を知ってもらうために、あわら市の観光地を巡ったり、地域住民の方と一緒にイベントに参加して、お互い交流を深める | 100,000 |

市民活動サポート助成金団体一覧（順不同）

| | | | | | |
|----|----|--------------------------------|--------|---|---------|
| 69 | R3 | 金津まちなか創成会 | 清水 与志男 | 新幹線開業に向けて駅前周辺の賑わい創出 | 200,000 |
| 70 | R3 | 劔岳地区振興協議会 | 畑 秀雄 | 文化的な生活が浸透してきた現代において、歴史を振り返って見たり、近隣の自然に触れる機会が極端に減ってきました。近くに北陸最大級の横山古墳群や劔ヶ岳をはじめ多くの自然に恵まれている「劔岳地区」です。この事業で歴史に学ぶ、森林に親しむ、健康を保つ、この一石三鳥を目指します。 | 200,000 |
| 71 | R3 | たたら製鉄遺跡保存会（R1 継続分） | 藤川 龍七 | 市内の小学生と地域住民との交流事業の形態で製鉄実習を行うことにより、地域の歴史や伝統を後世に伝えとともに、地域間や多世代交流を促進し、細呂木地区の活性化および街づくりの推進を図る。 | 50,000 |
| 72 | R3 | 「藤野先生」を継続的に顕彰する市民の会（R2 継続分） | 松井 利夫 | あわら市民が中心となって、郷土の偉人である「藤野厳九郎」を末永く顕彰していくための組織作り及びその活動支援を目的とする。 本会が顕彰活動の進め方を提示し、趣旨に賛同する者を広く募り、活動を進めていく。 | 100,000 |
| 73 | R3 | 夢ぐるま café ふわり（R1 継続分） | 竹嶋 一江 | 北潟の風光明媚な景色に関心を持ったり、地域住民自ら誇りを持って市内外に広く発信し、あわら市の活性化を目指す。 | 50,000 |
| 74 | R3 | 坂井あわらアグリカルチャー・スマイル・クラブ（R1 継続分） | 斎藤 力 | あわら温泉をはじめとする飲食店や宿泊施設等の商工観光関係者と農業者が連携することにより、一層地産地消の推進とPRを図り、あわらの食の魅力を盛り上げる | 50,000 |
| 75 | R3 | NPO 農村お助け隊（R1 継続分） | 岡田 英明 | 休耕地・耕作放棄地の解消及び人々の交流を図る機会を創造する。 | 50,000 |
| 76 | R4 | 「藤野先生」を継続的に顕彰する市民の会（R2 継続分） | 松井 利夫 | あわら市民が中心となって、郷土の偉人である「藤野厳九郎」を末永く顕彰していくための組織作り及びその活動支援を目的とする。 本会が顕彰活動の進め方を提示し、趣旨に賛同する者を広く募り、活動を進めていく。 | 50,000 |
| 77 | R4 | 特定非営利活動法人細呂木地区創成会 | 藤川 龍七 | 地域の自然素材を生かした商品開発を行う。また、体験型プログラムの商品化も進めていく。 | 50,000 |
| 78 | R4 | 金津まちなか創成会（R3 継続分） | 清水 与志男 | 新幹線開業に向けて駅前周辺の賑わい創出 | 100,000 |
| 79 | R4 | あわら国際交流友の会（R3 継続分） | 藤田 侑平 | 外国人と一緒にしゃべり場の日本語講座、マナー講座、防災講座等を開催して、生活のサポートを行う。 外国人の方にあわら市の事を知ってもらうために、あわら市の観光地を巡ったり、地域住民の方と一緒にイベントに参加して、お互い交流を深める | 100,000 |
| 80 | R4 | 劔岳地区振興協議会（R3 継続分） | 畑 秀雄 | 文化的な生活が浸透してきた現代において、歴史を振り返って見たり、近隣の自然に触れる機会が極端に減ってきました。近くに北陸最大級の横山古墳群や劔ヶ岳をはじめ多くの自然に恵まれている「劔岳地区」です。この事業で歴史に学ぶ、森林に親しむ、健康を保つ、この一石三鳥を目指します。 | 100,000 |
| 81 | R4 | あわらピタゴラの会（R3 継続分） | 三上 寛了 | 本能的な楽しさを伴うピタゴラ装置作りを通して、論理的思考力やデザイン感覚を養う知育の場作りを行う。新郷小学校を活動拠点にしてあわら市にピタゴラの輪を広げていく。ピタゴラコンテストとピタゴラ教室を開催することで、将来的には全国や海外でも名の知れた活動に育てていきたい。 | 100,000 |
| 82 | R4 | あわら市グラウンド・ゴルフ協会 | 谷口 正雪 | 1. 気楽に近くでグラウンド・ゴルフができることによる生涯学習の促進 2. 大会などを開催することにより、あわら市や地域の活性化につなげる 3. 子どもたちとの交流と育成 | 50,000 |
| 83 | R4 | 一般社団法人劔岳文化共栄会 | 城戸 恒彌 | 子供たちが故郷の川に、「魚がどこにでも泳ぎそれを釣りに行く」その体験をすることで里山に親しみを抱いてほしい。また、放流と併用し杉立ち木をチェーンソーにて伐採する実演を見学し、その迫力を体験し、林業への関心と魅力を実感することにより将来の担い手となる人材を育成したい。 | 100,000 |

市民活動サポート助成金団体一覧（順不同）

| | | | | | |
|----|----|-------------------|-------|--|---------|
| 84 | R4 | 神宮寺城跡保存会 | 山下 文憲 | 地元を含め市民に広く「存在や歴史的価値」を認識、理解してもらい、共に文化財として保全しながら観光資源として共有してもらうこと。 | 100,000 |
| 85 | R4 | U-M a k e | 上田 明子 | <ul style="list-style-type: none"> ・あわら市内での祭りやイベントに参加し盛り上げる。 ・新幹線開通にむけて、駅アフレアにて定期ライブをし、県内外からたくさんの方が集まれるように施す。 ・子供から大人までより多くの方にダンスを楽しんでもらう。（健康増進） | 50,000 |
| 86 | R4 | 特定非営利活動法人おっとふぁーざー | 舘 直宏 | <ul style="list-style-type: none"> ・父親が子育てや家事を楽しみながら積極的にかかわるための知識や技術の習得と機会の創出。 ・父親の子育て・家事への進出によって、母親の負担を軽減し、自由な時間の創出。 ・あわら市の豊かな自然を活かした体験を通じて子どもの生きる力を育み、親子で学び、健やかな成長を促す。 ・アウトドア体験を通じて防災への意識を高め、災害時にはアウトドアの経験や技術を活かして非常時対応できる力を育む。 ・休校利活用によって新たな賑わいを創出し、多くの人が集うコミュニティの形成を行う。 | 150,000 |
| 87 | R4 | あわアワー実行委員会 | 海渡由紀子 | 旧金津芦原の垣根、世代の垣根を越えて、あわら市全体の融合をテーマとしたにぎわいを創出するため、一つの場所を共有できるイベントを開催。あわら市民、あわら市の事業者の交流の場となり、人との繋がりやあわら市の情報の共有が可能となる、持続的な仕組みづくりを行う。 | 150,000 |